

令和5年度天皇杯全日本レスリング選手権



令和5年12月21日(木)から24日(日)までの間、国立代々木競技場第2体育館において「令和5年度天皇杯全日本レスリング選手権」が開催された。自衛隊体育学校からは40名(フリースタイル19名、グレコ14名、女子7名)が参加し、金4、銀6、銅10を獲得した。金を獲得した4階級の選手はアジアトライアル・世界トライアル代表となり、パリオリンピックへの道が開けることとなった。



2等陸曹  
いしくろ はやと  
石黒 隼士

フリースタイル 86kg 級  
注目の戦いで押し切り金

フリースタイル 86kg 級に出場した石黒隼士2等陸曹は、決勝で五輪3大会連続出場の高谷惣亮選手との決勝となり注目を浴びた。同点で迎えた後半、石黒2曹は強い圧力で高谷選手を場外に押し出し、途中ポイントを取られる場面もあったが猛追を許さず3-2で2大会連続3度目の優勝を果たした。ガッツポーズを決めた石黒2曹は「4年越しでこの天皇杯に賭けてきた。高い壁を乗り越えられてうれしい。落ち込むこともあったが高谷惣亮選手と練成を重ねてきた。支えてくれた先輩方に感謝している。絶対にオリンピック予選で出場権を勝ち取ってくる。」と力強く語った。

フリースタイル 125kg 級  
6度目!4連覇!金!!

フリースタイル 125kg 級に出場した山本泰輝2等陸曹は、第1試合から準決勝まで無失点で勝ち上がり、決勝では相手の圧力に押されたものの、後半タックルから背後をとりローリングで11-1のテクニカルスベリオリティにより圧勝、4年連続6度目の優勝を決めパリオリンピック予選代表権を獲得した。国内の大会では圧倒的な強さを見せつける山本2曹だが、試合後は涙ながらに「うまく攻められなかった。試合内容で強さを示せないといけない。」と満足がいけない様子だったが、「タックルに自信を持ち、自分のレスリングを100%出し、思うような試合運びができるようになりたい。」と決意を新たにされた。



2等陸曹  
やまもと たいき  
山本 泰輝

